

まちの案内推進ネットでは、障がい者だけではなく、すべての人にとっても便利な外出時の案内環境整備が進むことを願い、駅での移動経路が判りやすいマップを開発し、国内地下鉄全駅の案内マップを統一デザインで作成しています。これらをバリアフリー情報と共にWEBサイト「えきペディア」で公開し、印刷物やモバイルでの情報提供も進めています。

「えきペディア」が提供する案内は、公共性の高い案内ですが、マップの開発やそれらの更新をこれまで弊所が実施する自費事業として行って参りました、このため事業の維持継続のための財政基盤確立が現在、大きな課題となっています。「えきペディア」をご利用の皆さまをはじめ関係各位のご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2012年6月 理事長 岡田光生

### 2011年度の主な事業



●日本郵便の年賀寄附金配分助成による東日本大震災罹災者への支援事業として「赤い車イス」プロジェクトを事務局として運営、東北3県に300台の車イスを贈呈。

写真は福島県飯舘村の避難仮設



●大阪府 新しい公共採択事業 H23,24年度インターネットを通じたバリアフリー案内の様々な蓄積をもとに、NPOをはじめとした非営利活動法人を対象に、初心者がホームページを開設できるようになるまでの実践的学習講座を開講。24年度は規模を拡大し実施します。



●企業の広告協賛を得て、横浜・京都では地下鉄主要駅の案内マップを載せたパンフレットを作成。両都市地下鉄全駅で各3万部を配布。写真左

●大阪では、市民活動基金助成を受け、ターミナル地下鉄駅の案内マップを新たにデザイン。5万部を作成し、区役所等で配布。写真右

- 日本郵便の年賀寄附金配分助成により、Android OSによる地下鉄バリアフリー案内アプリを開発、H24年5月リリース。
- 各都市のNPOと連携し上記助成による事業協働を進めています。前年度の横浜に続き、京都では観光名所と大学のバリアフリー情報も掲載した地下鉄駅案内冊子2万部を作成。H24年3月下旬、京都市営地下鉄全駅と案内所などで配布。
- 郵便局バリアフリーアンケート調査を東京・京都で実施。7月Androidアプリ「郵便局&バリアフリー」リリース。



●「えきペディア」システムの運営・情報更新  
現在、札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・福岡の地下鉄42路線、全731駅について移動円滑化経路を案内するマップを作成し、駅のバリアフリー施設情報とあわせ更新しています。昨年度は延べ655マップを更新し、WEBサイト ekiopediaは約96万PV。また「えきペディア」iPhoneアプリは2度のバージョンアップを実施。